

# オホーツク海・日本海 4 月 魚探情報

—試験調査船「北洋丸」による海洋観測および魚群分布調査の結果—



道総研

2022 年 5 月 10 日

北海道立総合研究機構 稚内水産試験場

(担当：調査研究部 堀本 0162-32-7166)

- ◎オホーツク海沿岸域の底層水温は前年より高めで 5℃台の水温帯が優占
- ◎スケトウダラとみられる魚群反応量は前年より多く、水深 100~200mの海域に広く分布
- ◎日本海の底層水温は前年とほぼ同じで、沿岸域では 5℃以上の水温帯が優占
- ◎留萌~余市沖にスケトウダラとみられる魚群反応が分布

## 1 調査概要

2022 年 4 月 11~17 日に稚内~積丹沖の日本海、稚内~網走沖のオホーツク海において、試験調査船北洋丸により、海洋観測および計量魚探を用いた魚群分布調査を実施しました。

## 2 水温観測の結果（オホーツク海）

調査海域における底層水温（海底上 5~10m、水深 500m 以深の海域は深度 500m の水温）の分布を図 1 に示します。今年 4 月の底層水温は、2021 年より高く、宗谷管内の沿岸域では宗谷暖流の流入により 5℃台、沖合域では 4℃台の海域が広がっていました。

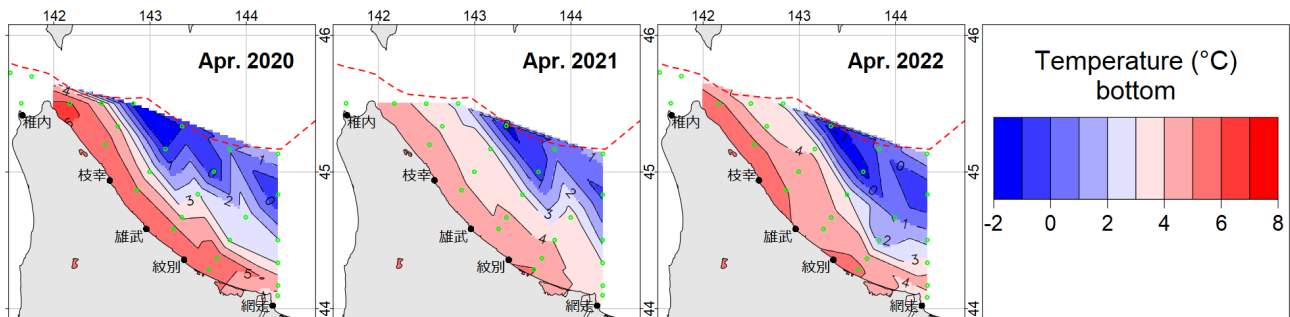


図 1. 北海道沿岸オホーツク海における底層水温 (°C) の分布. 2020~2022 年 4 月.

## 3 魚群分布調査の結果（オホーツク海）

計量魚探で得られた 1 海里あたり魚群反応量の分布を図 2 に示します。今年の調査では、魚群反応量は前年より多く、宗谷岬東方沖から網走沖に至る水深 100~200m の広い範囲において、スケトウダラとみられる魚群反応が観察されました（図 3）。

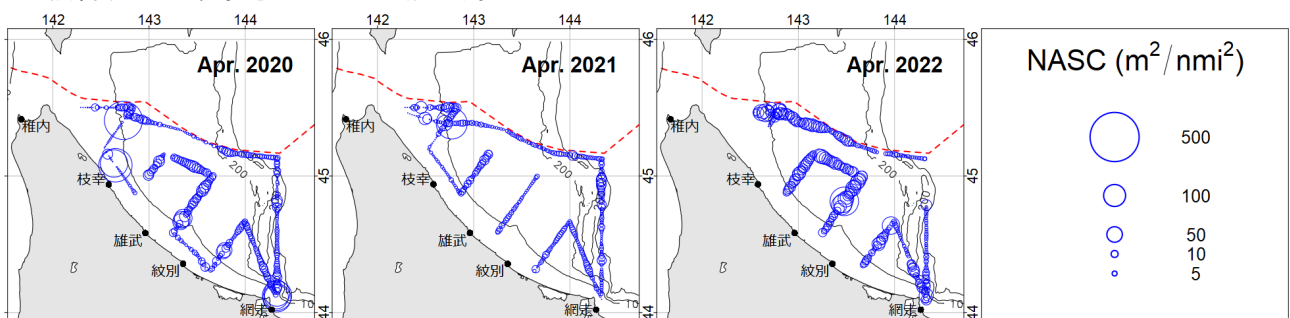


図 2. 北海道沿岸オホーツク海における魚群反応量  $\text{NASC} (\text{m}^2/\text{nmi}^2)$  の分布. 2020~2022 年 4 月.

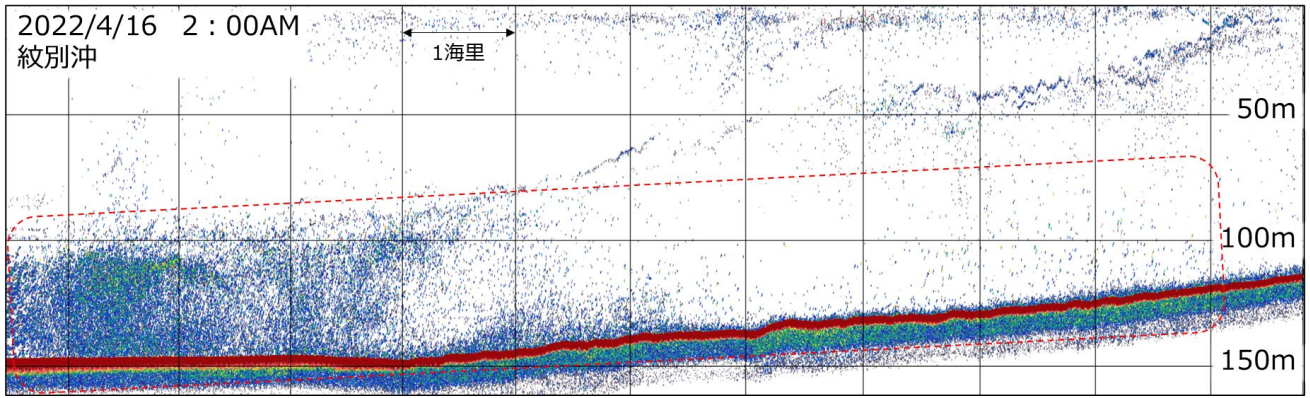


図 3. 2022 年 4 月 16 日の魚探画像（赤破線枠内：スケトウダラ）。紋別沖。

#### 4 水温観測の結果（日本海）

調査海域における底層水温（海底上 5~10m, 200m 以深の海域は深度 200m の水温）の分布を図 4 に示します。今年 4 月の底層水温は、2021 年とほぼ同様で、沿岸域では 5°C 以上、沖合域にかけても 3~4°C 台の海域が広がっていました。

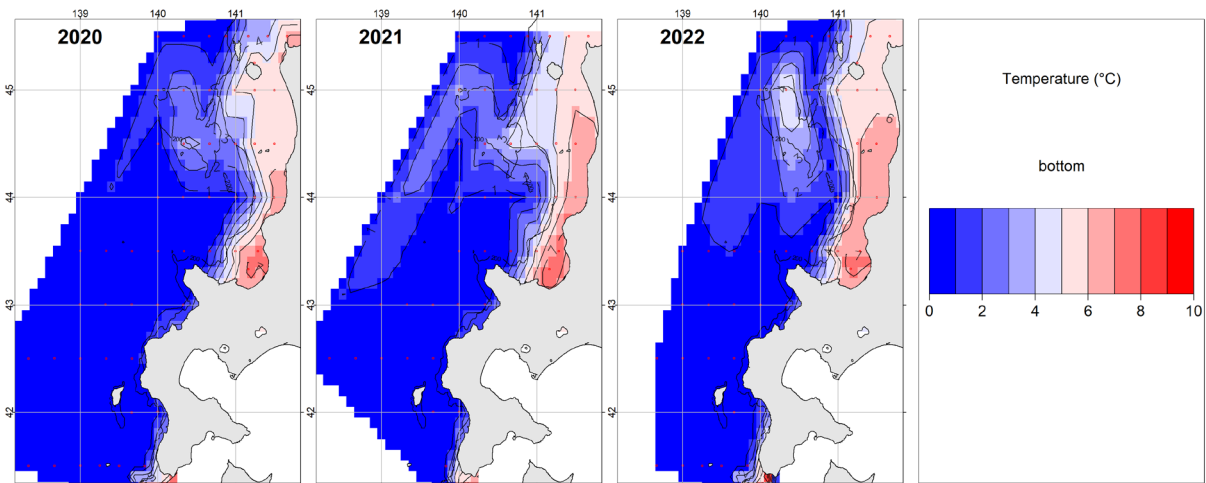


図 4. 北海道西部日本海における底層水温（°C）の分布。2020~2022 年 4 月。

#### 5 魚群分布調査の結果（日本海）

計量魚探で得られた 1 海里あたり魚群反応量の分布を図 5 に示します。留萌~小樽沖の水深 150~500m において、スケトウダラとみられる魚群反応が観察されました。

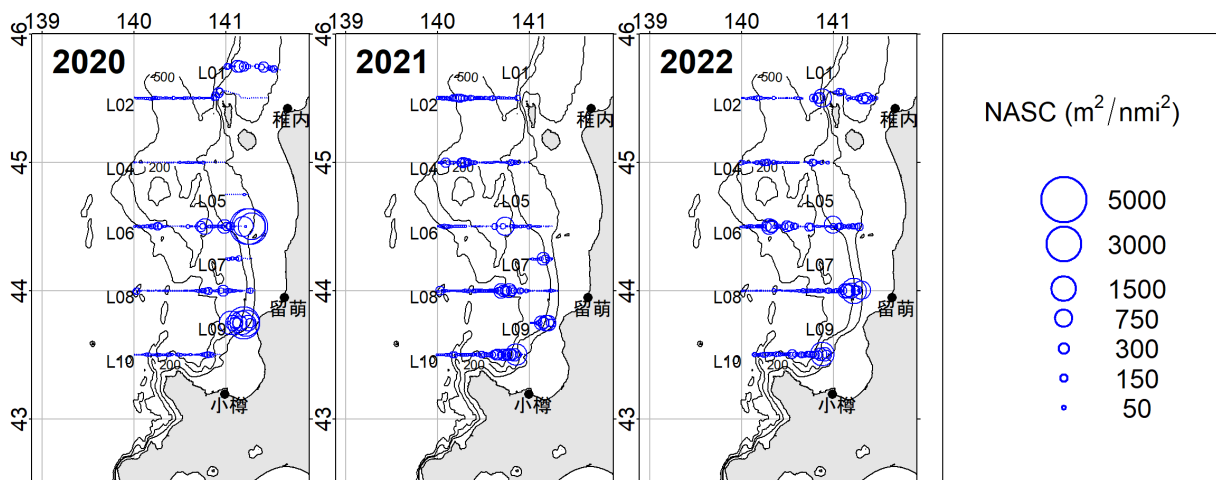


図 5. 北海道西部日本海における魚群反応量  $\text{NASC} (\text{m}^2/\text{nm}^2)$  の分布。2020~2022 年 4 月。